2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	政治・社会・経済（憲法）	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	村松武 佐竹考太　他
授業回数	45	単　　位	6	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 政治（憲法上の人権、統治機構を含む）・経済の基本について理解する。また社会学・社会政策・国際関係等の基本を理解する 【概要】 政治（憲法上の人権、統治機構を含む）・経済の基本について学習する。また社会学・社会政策等の基本を理解する。 現実社会での問題を理解、分析し、視野の広い社会人となることを狙いとする。				

到達目標	政治・経済についての基本知識、政治体制、日本国憲法の特徴（基本的人権、統治機構）を正しく理解する。社会学の基本を理解する。社会に出るに当たり、正確な知識を身につけ、適切な判断ができること。
授業内容	回 01：政治・政治の基本概念 02：政治・政治制度論 03：政治・政治過程論 04：政治・日本国憲法の特色 05：政治・基本的人権総論・包括基本権 06：政治・平等権・精神的自由権① 07：政治・精神的自由権② 08：政治・人身の自由・社会権 09：政治・能動的権利と受益権 10：政治・憲法改正の手続き 11：政治・国会① 12：政治・国会② 13：政治・内閣① 14：政治・内閣② 15：政治・裁判所 回 16：政治・地方自治 17：社会・社会理論 18：社会・労働問題① 19：社会・労働問題② 20：社会・社会保障① 21：社会・社会保障② 22：社会・環境問題 23：社会・国際関係① 24：社会・国際関係② 25：経済・経済社会の変容と経済体制① 26：経済・経済社会の変容と経済体制② 27：経済・現代の企業① 28：経済・現代の企業② 29：経済・国民所得① 30：経済・国民所得②
テキスト 参考文献	テキスト政治・テキスト社会・テキスト経済（大原出版株式会社）
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	政治・社会・経済（憲法）	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	村松武 佐竹考太　他
授業回数	45	単　　位	6	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 政治（憲法上の人権、統治機構を含む）・経済の基本について理解する。また社会学・社会政策・国際関係等の基本を理解する 【概要】 政治（憲法上の人権、統治機構を含む）・経済の基本について学習する。また社会学・社会政策等の基本を理解する。 現実社会での問題を理解、分析し、視野の広い社会人となることを狙いとする。				

到達目標	政治・経済についての基本知識、政治体制、日本国憲法の特徴（基本的人権、統治機構）を正しく理解する。社会学の基本を理解する。社会に出るに当たり、正確な知識を身につけ、適切な判断ができること。

授業内容	回	回
	31：経済・経済成長と景気循環①	46：
	32：経済・経済成長と景気循環②	47：
	33：経済・通貨制度と金融政策	48：
	34：経済・財政制度と財政政策①	49：
	35：経済・財政制度と財政政策②	50：
	36：経済・貿易と外国為替①	51：
	37：経済・貿易と外国為替②	52：
	38：経済・日本経済の動向	53：
	39：経済・国際経済の動向①	54：
	40：経済・国際経済の動向②	55：
	41：社会科学演習・政治まとめ①	56：
	42：社会科学演習・政治まとめ②	57：
	43：社会科学演習・社会まとめ	58：
	44：社会科学演習・経済まとめ①	59：
	45：社会科学演習・経済まとめ②	60：

テキスト 参考文献	テキスト政治・テキスト社会・テキスト経済（大原出版株式会社）
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	世界史	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	佐竹考太 長谷川正彦　他
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 ①西洋史・中国史全般の理解をすることを目的とする。②人物・出来事を正確に理解するとともに時系列を把握し、各時代の出来事について類似点、相違点を把握する。 【概要】 ①西洋史・中国史上の人物・出来事につき、テキストを通して理解し、把握していく。 ②定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。③タブレット端末を用いて史料にあたり、知識の効果的な定着をめざしていく。				

到達目標	西洋史・中国史上の人物・出来事を、正確に時系列で理解する。各時代の人物・出来事につき、類似点と相違点を正しく把握する。各時代についての記述を分析し、内容の正誤を判断することができる。	
授業内容	回 01：古代～中世の概略 02：近代ヨーロッパ① 03：近代ヨーロッパ② 04：16～18世紀のヨーロッパ① 05：16～18世紀のヨーロッパ② 06：市民社会の成長① 07：市民社会の成長② 08：19世紀の欧米① 09：19世紀の欧米② 10：現代世界① 11：現代世界② 12：ヴェルサイユ体制 13：第二次世界大戦 14：中国史① 15：中国史②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：
テキスト 参考文献	テキスト世界史（大原出版株式会社）	
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。	

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	日本史	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	村松武 松村明彦　他
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 日本史全般の理解をすることを目的とする。人物・出来事を正確に理解するとともに時系列を把握し、各時代の出来事について類似点、相違点を把握する。 【概要】 日本史上の人物・出来事につき、テキストを通して理解し、把握していく。定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。タブレット端末を用いて史料にあたり、知識の効果的な定着をめざしていく。				

到達目標	日本史上の人物・出来事を、正確に時系列で理解する。各時代の人物・出来事につき、類似点と相違点を正しく把握する。各時代についての記述を分析し、内容の正誤を判断することができる。

授業内容	回	回
	01：原始・古代① 02：古代② 03：古代③ 04：中世① 05：中世② 06：古代・中世まとめ 07：近世① 08：近世② 09：近世③ 10：近代① 11：近代② 12：近代③ 13：近代④ 14：現代 15：近世・近代・現代まとめ	16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：

テキスト 参考文献	テキスト日本史（大原出版株式会社）
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	地理	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	増谷麻由 佐竹考太　他
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 地理全般の理解をすることを目的とする。世界の地形や、世界各国における産業及び生活について類似点、相違点を把握する。日本における地形、農業、漁業、生活について把握する。 【概要】 世界の地理についてテキストを通して理解し、把握していく。定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。タブレット端末を用いて史料にあたり、知識の効果的な定着をめざしていく。				
到達目標	世界に広がる地形、気候区分や植生を正しく把握する。世界各国の農業や工業、漁業について相違点を理解し、正しく把握する。地理についての記述を分析し、内容の正誤を判断することができる。				

授業内容	回	回
	01：自然環境と地図① 02：自然環境と地図② 03：自然環境と地図③ 04：資源と産業① 05：資源と産業② 06：資源と産業③ 07：生活と地域① 08：生活と地域② 09：生活と地域③ 10：日本の地理① 11：日本の地理② 12：日本の地理③ 13：世界の国々① 14：世界の国々② 15：世界の国々③	16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：

テキスト 参考文献	テキスト地理（大原出版株式会社）
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	国語・文章理解	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	増谷麻由 岡田圭介　他
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 文法や漢字・語句、文学史について理解すること、また文章を読んで内容把握する、文章構造を正確に理解することを目的とする。 【概要】 文法や文学史について理解する。漢字を正確に読み、書くとともに、語句の読み方や意味を正確に把握する。 テキストを用いて文章を読み解くための手法を理解し、実践する。定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。				

到達目標	国語：①文法や文学史の理解②漢字の正確な読み書き③語句の正確な理解、文章理解：①内容把握②文章整序③空欄補充、いずれも正確にできること。	
授業内容	回 01：文法① 02：文法② 03：漢字・語句① 04：漢字・語句② 05：漢字・語句③ 06：内容把握① 07：内容把握② 08：内容把握③ 09：内容把握④ 10：文章整序① 11：文章整序② 12：文章整序③ 13：空欄補充① 14：空欄補充② 15：確認テスト	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：
テキスト 参考文献	テキスト国語・テキスト文章理解（大原出版株式会社）	
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。	

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	物理・化学	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	清水舞依美 福沢謙太郎　他
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 ①物理・化学の基礎や基本的な計算問題を、テキストを通して理解し、把握していく。②定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。③講師が現象を実演することで、知識の効果的な定着をめざす。 定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。 【概要】 物理の基本知識を学習し、自然や科学を理解する視野を広げること、また化学の基本知識を学習し、自然や科学を理解する視野を広げることを狙いとする。				

到達目標	①物理・化学の基本を理解している。②公式・化学式について理解する。③基本的な問題を解くことが出来る。

授業内容	回	回
	01：物理　第１章（運動）	16：
	02：物理　第１章（運動）	17：
	03：物理　第２章（力）	18：
	04：物理　確認テスト	19：
	05：物理　第６章（熱）	20：
	06：物理　第７章（波動）	21：
	07：物理　第８章（電気）	22：
	08：物理　確認テスト	23：
	09：化学　第１章（物質の構造）	24：
	10：化学　第１章（物質の構造）	25：
	11：化学　確認テスト	26：
	12：化学　第２章（物質の状態）	27：
	13：化学　第２章（物質の状態）	28：
	14：化学　第３章（物質の変化）	29：
	15：化学　確認テスト	30：

テキスト 参考文献	テキスト物理（大原出版株式会社） テキスト化学（同）
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	生物・地学	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	村松武 岡田圭介　他
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 ①生体の構造やしくみ、遺伝や身体の内部環境について理解する②地球、岩石、大気、宇宙について理解する③定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。④タブレット端末を用いることで、知識の効果的な定着をめざす。 【概要】 生物・地学の基本知識を学習し、自然科学分野を理解し視野を広げることを目的とする。				

到達目標	生体の構造、代謝のしくみなどについて理解すること。また地球の構造、気象現象や惑星について分類して把握できること。生物、地学の基本事項を把握し、記述に対して内容の正誤を判断することが出来ること。

授業内容	回	回
	01：生物・生体の構造 02：生物・生体内の代謝 03：生物・確認テスト① 04：生物・生殖と発生、遺伝と変異 05：生物・確認テスト② 06：生物・刺激の受容と反応 07：生物・内部環境の恒常性と調節 08：生物・確認テスト③ 09：地学・地球の姿と動く大地① 10：地学・地球の姿と動く大地② 11：地学・岩石（火成岩とマグマ） 12：地学・大気と海洋① 13：地学・大気と海洋② 14：地学・太陽系と宇宙の構造① 15：地学・太陽系と宇宙の構造②	16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：

テキスト 参考文献	テキスト生物・テキスト地学（大原出版株式会社）
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	判断推理・空間把握	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	福沢謙太郎 松村明彦　他
授業回数	30	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 論理的な思考力により、情報を整理、処理できる力を養う。 【概要】 テキストを通して問題の解法と、その解法に至る発想を講義する。 定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。				
到達目標	与えられた情報を正確に理解する。 情報を整理し、論理的思考によって正しい結論を導くことができる。				
授業内容	回 01：対応 02：論理① 03：論理② 04：推理・手順 05：集合の要素の個数① 06：集合の要素の個数② 07：問題演習 08：勝敗 09：暗号 10：ウソの証言 11：順序 12：位置・方位 13：問題演習 14：試験① 15：一筆書き・位相		回 16：道順・折り紙 17：平面構成 18：回転の軌跡① 19：回転の軌跡② 20：問題演習 21：正多面体 22：展開図① 23：展開図② 24：サイコロ 25：積み木 26：見取り図・投影図 27：立体の切断 28：回転体 29：問題演習 30：試験②		
テキスト 参考文献	判断推理[問題編]（大原出版株式会社）　判断推理[解答編]（大原出版株式会社） 図形・資料解釈[問題編]（大原出版株式会社）　図形・資料解釈[解答編]（大原出版株式会社）				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	数的推理・図形	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	佐竹考太 藤内亮平　他
授業回数	30	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 基礎的な計算力を身に付け、設問から課題を解決する方法を導き出す力を身に付ける。 また、数学力を利用し、効率的にデータの分析を行える能力を習得する。 【概要】 例題にて計算方法、考え方を習得。その後、基本問題、応用問題と演習を繰り返すことで理解度の定着を目指す。また、定期的に確認テストを行うことで、復習と理解度、習熟度の定着度を高めていく。				

到達目標	四則演算、方程式などがミスなく解ける。 文章問題の出題意図を素早くつかみ、正しい解答を導き出すことができる。 解答を導き出すまでの手段が一つでない場合、所要時間が少ない方法を選択することができる。

授業内容	回	回
	01：方程式・不等式① 02：方程式・不等式② 03：方程式・不等式③ 04：確認テスト① 05：整数・計算パズル① 06：整数・計算パズル② 07：整数・計算パズル③ 08：整数・計算パズル④ 09：確認テスト② 10：割合と比① 11：割合と比② 12：割合と比③ 13：確認テスト③ 14：速さ① 15：速さ②	16：速さ③ 17：速さ④ 18：確認テスト④ 19：仕事算① 20：仕事算② 21：確認テスト⑤ 22：場合の数① 23：場合の数② 24：場合の数③ 25：場合の数④ 26：確認テスト⑥ 27：確率① 28：確率② 29：確率③ 30：確認テスト⑦

テキスト 参考文献	数的推理[問題編]（大原出版株式会社） 数的推理[解答編]（大原出版株式会社） 図形・資料解釈[問題編]（大原出版株式会社）
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	教養総合講義Ⅲ	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	福沢謙太郎 長谷川正彦　他
授業回数	30	単　　位	4	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動及び就職後、社会生活で求められる一般知能、一般知識の習得を目的とする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。 【概要】 就職活動及び就職後、社会生活で求められる一般知能、一般知識の習得を目指し、講義を行う。				
到達目標	就職活動及び就職後、社会生活で求められる一般知能、一般知識の習得すること。				

授業内容	回	回
	01：答練解説講義1 02：答練解説講義2 03：答練解説講義3 04：答練解説講義4 05：答練解説講義5 06：答練解説講義6 07：答練解説講義7 08：答練解説講義8 09：答練解説講義9 10：答練解説講義10 11：答練解説講義11 12：答練解説講義12 13：答練解説講義13 14：答練解説講義14 15：答練解説講義15	16：答練解説講義16 17：答練解説講義17 18：答練解説講義18 19：答練解説講義19 20：答練解説講義20 21：答練解説講義21 22：答練解説講義22 23：答練解説講義23 24：答練解説講義24 25：答練解説講義25 26：答練解説講義26 27：答練解説講義27 28：答練解説講義28 29：答練解説講義29 30：答練解説講義30

テキスト 参考文献	各種模擬試験（大原出版株式会社）　例：直前模擬試験（公務員総合、一般職）、公務員模擬試験初級、実力判定試験一般職、公開模擬試験一般職　等
成績基準	取組姿勢や基準とする模擬試験の得点率により総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校					学科名：1年制公務員科
授業科目	教養総合演習Ⅲ	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	長谷川正彦 福沢謙太郎　他
授業回数	60	単　　位	4	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得を目的とする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。 【概要】 知能科目及び知識科目全般についての模擬試験を実施する。模擬試験を通じ、得意科目や苦手科目の把握、習熟度の確認をする。模擬試験と復習を繰り返すことで、知識の定着を図る。				
到達目標	就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得をする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。				

授業内容	回	回
	01：答練1 02：答練1 03：答練2 04：答練2 05：答練3 06：答練3 07：答練4 08：答練4 09：答練5 10：答練5 11：答練6 12：答練6 13：答練7 14：答練7 15：答練8	16：答練8 17：答練9 18：答練9 19：答練10 20：答練10 21：答練11 22：答練11 23：答練12 24：答練12 25：答練13 26：答練13 27：答練14 28：答練14 29：答練15 30：答練15

テキスト 参考文献	各種模擬試験（大原出版株式会社）　例：直前模擬試験（公務員総合、一般職）、公務員模擬試験初級、実力判定試験一般職、公開模擬試験一般職　等
成績基準	取組姿勢や基準とする模擬試験の得点率により総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	教養総合演習Ⅲ	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	長谷川正彦 福沢謙太郎　他
授業回数	60	単　　位	4	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得を目的とする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。 【概要】 知能科目及び知識科目全般についての模擬試験を実施する。模擬試験を通じ、得意科目や苦手科目の把握、習熟度の確認をする。模擬試験と復習を繰り返すことで、知識の定着を図る。				
到達目標	就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得をする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。				
授業内容	回 31：答練16 32：答練16 33：答練17 34：答練17 35：答練18 36：答練18 37：答練19 38：答練19 39：答練20 40：答練20 41：答練21 42：答練21 43：答練22 44：答練22 45：答練23		回 46：答練23 47：答練24 48：答練24 49：答練25 50：答練25 51：答練26 52：答練26 53：答練27 54：答練27 55：答練28 56：答練28 57：答練29 58：答練29 59：答練30 60：答練30		
テキスト 参考文献	各種模擬試験（大原出版株式会社）　例：直前模擬試験（公務員総合、一般職）、公務員模擬試験初級、実力判定試験一般職、公開模擬試験一般職　等				
成績基準	取組姿勢や基準とする模擬試験の得点率により総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	論作文	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	増谷麻由 佐竹考太　他
授業回数	15	単　　位	1	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 論作文の書き方を理解することを目的とする。 正しい日本語表現を身につけ、自分の考えなどを書き表す。 【概要】 文章表記や文章の構成を理解する。 定期的に論作文を書き、理解度・習熟度を測る。				
到達目標	文章表記や文章の構成を正確に理解する。 志望先に関する情報収集を行うことができる。 自分の考えを書き表すことができるようになる。				

授業内容	回	回
	01：論作文の基礎① 02：論作文の基礎② 03：論作文の基礎③ 04：文章作成①･採点･解説・やり直し 05：情報収集① 06：情報収集② 07：情報収集③ 08：情報収集④ 09：情報収集⑤ 10：文章作成②･採点･解説・やり直し 11：論作文① 12：採点・解説・やり直し 13：論作文② 14：採点・解説・やり直し 15：まとめ	16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：

テキスト 参考文献	テキスト論作文（大原出版株式会社）
成績基準	取組姿勢、課題提出状況、課題内容の結果等を基に総合的に点数化し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	ビジネス社会で求められる文章能力を高めていくこと。文字の美しさ、文法上の正確さ、構成力、表現力、内容等の改善を図ること。日頃から、自己分析や官公庁の業務把握を行うこと。

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	民法	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	長谷川正彦 村松武　他
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 民法の基礎を学習することにより、法的思考力を身に着ける。 【概要】 民法の全体像を把握するとともに、民法総則全般と財産法、家族法の主要な内容を理解する。				
到達目標	民法の趣旨、基本条文を解釈できる。 日々の生活がどのように法律により規定されているかを理解できる。				
授業内容	回 01：民法とは（公法と私法の違い、私法の一般法としての位置づけ） 02：総則（権利能力・意思能力・制限行為能力者）① 03：総則（権利能力・意思能力・制限行為能力者）② 04：総則（意思表示） 05：総則（代理）① 06：総則（代理）② 07：総則（時効） 08：親族（婚姻・離婚） 09：親族（婚姻・離婚） 10：親族（親子・養子） 11：親族（親子・養子） 12：相続・遺贈① 13：相続・遺贈②	回 14：相続・遺贈③ 15：相続・遺贈④			
テキスト 参考文献	大原出版　宅建士民法テキスト 行政書士民法テキスト				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	次回授業までに学習内容を復習し、理解を深めること。				

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	刑法	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	村松武 長谷川正彦　他
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 刑法の全体像を把握するとともに、刑法総論全般と各論の主要な内容を理解する。 【概要】 刑法の全体像を把握するとともに、刑法総論全般と各論の主要な内容を学習する。 まず刑法の前提として法学概論を理解する。次に刑法学における基本理論を正確に把握する。犯罪の成立要件、刑罰論を学び、法律要件・法律効果の関係を知る。刑法総論の基本論点、刑法各論の主要部分を学習する。				

到達目標	刑法の全体像を把握する。刑法概念、罪刑法定主義、刑法の適用範囲、犯罪の成立要件を正確に理解する。総論の基本論点、各論の主要論点を理解する。刑法以外の法適用時に、応用する力を身につける。	
授業内容	回 01：法学概論① 02：法学概論② 03：刑法と基本的人権① 04：刑法と基本的人権② 05：刑法と統治機構① 06：刑法と統治機構② 07：刑法の概念 08：罪刑法定主義・刑法の適用範囲 09：犯罪の成立要件① 10：犯罪の成立要件② 11：犯罪の成立要件③ 12：未遂犯 13：共犯・刑罰 14：刑法各論① 15：刑法各論②・まとめ	回
テキスト 参考文献	『刑法の基礎』（大原法律公務員専門学校浜松校）	
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の内　容	次回授業までに学習内容を復習し、理解を深めること。	

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	ビジネス実習ＩA	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡田圭介 清水舞依美
授業回数	15	単　　位	1	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 社会において求められる基礎行動力、職場の基礎能力を習得する。職場で求められるPC能力を身につける。企業担当者との実習によって、官公庁・企業での就労に役立つ能力の習得を目的とする。 【概要】 社会人として求められる基礎能力を実習によって習得する。ＰＣについてMicrosoft社のビジネスソフトの基本操作を覚える。企業担当者による実習授業では、現実社会において生じている事象や問題点に目を向け、自ら対処する姿勢を身につけるとともに、具体的な解決手法を考え、提案できるようにする。				
到達目標	社会人としての基礎的な思考、振る舞いができる。社会人基本レベルのＰＣ能力を身につける。官公庁での勤務を前提に、実社会の事象、問題点について検討分析し、解決手法を提案できる能力を身につける。				
授業内容	回 01：基礎行動実習・概論 02：基礎行動実習・規律訓練① 03：基礎行動実習・規律訓練② 04：基礎行動実習・グループワーク① 05：基礎行動実習・グループワーク② 06：職場の基礎能力・自己管理力① 07：職場の基礎能力・自己管理力② 08：職場の基礎能力・協調行動力① 09：職場の基礎能力・協調行動力② 10：職場の基礎能力・IT活用力① 11：職場の基礎能力・IT活用力② 12：職場の基礎能力・IT活用力③ 13：職場の基礎能力・IT活用力④ 14：職場の基礎能力・IT活用力⑤ 15：職場の基礎能力・IT活用力⑥	回			
テキスト 参考文献	Word&Excel　2021（実教出版） Word文書処理技能認定試験3級問題集（サーティファイ） 企業等の実務担当者による実習授業については、担当者の指示した教材を用いる。				
成績基準	取組姿勢やレポート、検定の結果等を基に総合的に点数化し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	授業で行った課題と同水準のものを復習すること。操作が苦手な者、ＰＣに触れる機会が少ない者は、放課後に学校所有の機材で復習することを薦める。				

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校					学科名：1年制公務員科
授業科目	ビジネス実習ＩＢ	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	岡田圭介 清水舞依美
授業回数	15	単　　位	1	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 社会において求められる基礎行動力、職場の基礎能力を習得する。職場で求められるPC能力を身につける。企業担当者との実習によって、官公庁・企業での就労に役立つ能力の習得を目的とする。 【概要】 社会人として求められる基礎能力を実習によって習得する。ＰＣについてMicrosoft社のビジネスソフトの基本操作を覚える。企業担当者による実習授業では、現実社会において生じている事象や問題点に目を向け、自ら対処する姿勢を身につけるとともに、具体的な解決手法を考え、提案できるようにする。				
到達目標	社会人としての基礎的な思考、振る舞いができる。社会人基本レベルのＰＣ能力を身につける。官公庁での勤務を前提に、実社会の事象、問題点について検討分析し、解決手法を提案できる能力を身につける。				
授業内容	回 16：Word検定対策① 17：Word検定対策② 18：Word検定対策③ 19：Word検定対策④ 20：Word検定対策⑤ 21：Excel実践① 22：Excel実践② 23：PowerPoint実践① 24：PowerPoint実践② 25：連携企業等実習授業・企業実習① 26：連携企業等実習授業・分析と振り返り① 27：連携企業等実習授業・課題作成① 28：連携企業等実習授業・企業実習② 29：連携企業等実習授業・分析と振り返り② 30：連携企業等実習授業・課題作成②	回			
テキスト 参考文献	Word&Excel　2021（実教出版） Word文書処理技能認定試験3級問題集（サーティファイ） 企業等の実務担当者による実習授業については、担当者の指示した教材を用いる。				
成績基準	取組姿勢やレポート、検定の結果等を基に総合的に点数化し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	授業で行った課題と同水準のものを復習すること。操作が苦手な者、ＰＣに触れる機会が少ない者は、放課後に学校所有の機材で復習することを薦める。				

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	ビジネス実習Ⅱ	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	村松武 増谷麻由　他
授業回数	30	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 ビジネス社会における理想的な就労のあり方を学ぶ。また職場において求められる実務能力、とりわけ理想的なマナー、振る舞い、接遇技術、電話応対技術を実習し、習得することで職業倫理観を身につける。 【概要】 企業、官公庁での勤務を想定し、理想的な姿勢を学ぶ。具体的には、職場での言葉遣い、マナー、振る舞い、接遇技術、電話応対技術をロールプレイングの手法により習得する。 就労に関する実例を題材として、理想的な就労形態が何かを把握する。今後の社会の変化、グローバル化に対応できる人材像を理解し、目指していく姿勢を身につける。				

到達目標	現実社会での就労問題を知り、正社員として理想的な就労意識、姿勢を理解する。 ビジネス社会における理想的なマナー、振舞、接遇技術、電話応対技術を理解し、実践できる。	
授業内容	回 PCP　01：PCP・職場のマナー① 02：PCP・職場のマナー② 03：PCP・仕事の進め方① 04：PCP・仕事の進め方② 05：PCP・「ほうれんそう」① 06：PCP・「ほうれんそう」② 07：PCP・挨拶の種類① 08：PCP・挨拶の種類② 09：PCP・笑顔・お辞儀 10：PCP・正しい敬語① 11：PCP・正しい敬語② 12：PCP・正しい敬語③ 13：PCP・応対の基本① 14：PCP・応対の基本② 15：PCP・応対の基本③	回 16：PCP・応対の基本④ 17：PCP・電話応対のマナー① 18：PCP・電話応対のマナー② 19：PCP・電話の受け方 20：PCP・電話のかけ方 21：PCP・状況別電話応対① 22：PCP・状況別電話応対② 23：PCP・状況別電話応対③ 24：PCP・状況別電話応対④ 25：PCP・電話応対練習 26：PCP・電話応対実技（実践） 27：就労事例研究・事例研究① 28：就労事例研究・課題作成① 29：就労事例研究・事例研究② 30：就労事例研究・課題作成②
テキスト 参考文献	ビジネスマナー（大原出版） 事例研究については、担当者により指示をする。	
成績基準	取組姿勢やレポート、効果測定の結果等を基に総合的に点数化し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の内　容	官公庁への就職を目指す者として、就労問題に関心を持つこと。新聞や書籍で理解を深めること。就労先で求められるビジネスマナー、スキルの習得に向けて意識を高め、実践を重ねること。	

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：1年制公務員科	
授業科目	ビジネス実習Ⅲ	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	長谷川正彦 福沢謙太郎　他
授業回数	30	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 ビジネス社会で求められる自己表現、プレゼンテーション技法を身につける。就職活動および就職後に、相手の考えを正しく理解するとともに、自らの意見を適切かつ効果的に伝えられることを目的とする。 【概要】 職業（業種・職種）研究を行う。対面による自己表現方法の習得を、個別・集団の各方法により実践修得する。グループによる討論、グループワーク等の手法を用いることもある。				

到達目標	ビジネス社会で求められる自己表現、プレゼンテーション技法を身につける。就職活動および就職後に、相手の考えを正しく理解するとともに、自らの意見を適切かつ効果的に伝えられることを目的とする。	
授業内容	回 01：自己PR1 02：自己PR2 03：自己PR3 04：自己PR4 05：自己PR5 06：志望動機1 07：志望動機2 08：志望動機3 09：志望動機4 10：志望動機5 11：希望業務1 12：希望業務2 13：希望業務3 14：希望業務4 15：希望業務5	回 16：グループ討論1 17：グループ討論2 18：グループ討論3 19：グループ討論4 20：グループ討論5 21：面接練習1 22：面接練習2 23：面接練習3 24：面接練習4 25：面接練習5 26：面接練習6 27：面接練習7 28：面接練習8 29：面接練習9 30：面接練習10
テキスト 参考文献	就職ガイドブック・就職ノートブック（大原出版株式会社）	
成績基準	取組姿勢やレポート、効果測定の結果等を基に総合的に点数化し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の 内　容	次回授業までに指導を受けた内容を改善すること。職業研究については、自発的に対象を見つけて日頃より研究を行うこと。自己表現に自信を持つため、他者との交流機会を増やしていくこと。	